

週報

2016~2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 会長エレクト 宮野ふさ子 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1101 回(9 月 13 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 SAA 石川会員 片山会員
卓話講師 池原昭治様

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34名	26名	75.75%	72.72%

会長の時間

佐藤 圭司 会長



本日は RI 会長のジョン・ジャーム氏が月に一度ロータリーのホームページから発信している 9 月度のメッセージを、ビデオを見ながら進めたいと思います。来年ロータリーが 100 周年を迎えるにあたって、それを盛り上げるために RI が作ったビジョンです。

『1917 年夏、アメリカが第一次世界大戦に参戦してからわずか数カ月後、ロータリーはアトランタで第 8 回年次大会を開きました。当時の多くのロータリアンは、この大会を中止すべきだと考えましたが、理事会は結局、予定通りに開催するというポール・ハリスの案に賛成しました。不安と恐怖が渦巻く中、ハリスは大会演説で、後にロータ

リーで最も多く引用されることになる次の言葉を残しています：

「よく指示された個人の努力は多くを成し遂げますが、最も偉大な善は、多くの人の努力が結集したときに生まれるものです。個人の努力は個人のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類への奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」

当時の会長、アーチ C. クランフが「世界でよいことをする」ためにロータリーの基金の設立を提案したのもちようどこの大会でした。結集された努力は、結集されたリソースという新しい力と一体となったのです。過去 100 年間のロータリーの飽くなき活動を支えてきたのは、この結集でした。今日、財団のないロータリーを想像することはできません。財団があったからこそ、ロータリーは、地元のクラブから、世界を変えるほどの力で「よいこと」をする国際的な組織へと発展できたのです。』 RI 会長からのメッセージ

このようにメッセージが 7 月、8 月、9 月とあって、初心表明も出ておりますので、是非皆さんも一読なされては如何でしょうか。

ロータリー 100 周年に向けて色々なコマmercial

が出来ておりますが、我が益子幹事がパソコンに長けていて、こういった情報を教えて頂けるので是非皆さんにもお伝えしたいと思い、昨日の夜中に急遽決まってすぐ用意して頂きました。有難うございました。

ロータリーは世界に良いことをするんだということで一生懸命世界中で活躍している中で、我々の資金もその一部として使われている訳で、すごい事をやっているんだなという事を映像で認識するのもたまにはいいのかなと思います。

幹事報告

益子幹事

1. 地区より

- ・『11月R財団月間卓話者派遣依頼申込書』
- ・『R財団100周年記念シンポジウム開催案内』
- ・『第15回ロータリー全国囲碁大会』のご案内『クラブ定款および細則の見直し変更のお願い』

2. 受贈会報 入間南RC 飯能RC 所沢RC

3. 回覧物 医療法人尚寿会 広報誌第105号

AAR ニュース 9月号

ハイライトよねやま 198号

「外来卓話」.....

池原 昭治 様

本日は大変素晴らしい場所に招待して頂き有難うございます。思い起こすと2回目の訪問となり、今回はどういった事を話したか記憶になく、重複するかもしれませんがその点をご容赦ください。私の専門は絵ですが、私が住んでいる水野の若葉台で、お世話になっている自治会の会長である柴田さんが、私が地元の民話や昔話を色々と集めているのをご存じで卓話を依頼されました。私はこういった場所で話をするのは苦手で、どこかへ逃げ出したいくらいです。

狭山市に住んで50年近くになり、住民の一人として半分認められたんじゃないかと思ひ、その間に色々取材したお話は報告する義務があるのではないかと思ひました。高い場所に立って自分より年配の方に昔はこうだったと言うのはおこが

ましいですが、一応報告という事でお耳を貸して頂けるようお願い致します

私は絵を描くのが仕

事で、男の子と女の子のキャラクターが常に大きくなったり小さくなったりして登場します。弟分として小さな子も出てきます。今のところこういうキャラクターで、女の子は赤い柄の着物を着ていて、男の子は元気そうなほっぺをして、昔ながらのブルーの縦縞の着物を着ています。このような子供たちが私の風景の中に登場します。

狭山湖辺りには今もタヌキやキツネがいて、小さなキャラクター達が色々な風景に交わっているのが私の絵の特徴です。



現在、狭山の広報誌で『残しておきたい狭山の風景』というのをやっています、これも50回近くになりますが、まだまだ残しておきたい風景は沢山あります。私自身の眼から見たものだけでなく、皆さんの御意見も参考にさせて頂きながら、元気でいられる間は狭山の貴重な風景を描きとめておいて、子供たちに伝えていく義務があると思いますので、そういった仕事を本格的にやってみたいと思っています。

本日の話は昔の万葉集に出て来る入間路という道が、狭山市の鎌倉街道と大体同じようなコースを辿ったといわれている話です。歴史的な事から紐解いていくのは苦手で、色々聞いたり、取材しながら確かめに行った風景を下に、街道にまつわる歴史、伝説、言い伝え等を紹介したいと思います。

まずは所沢からずっと上って県道があり、入間川が流れています。所沢から来た鎌倉街道と言われている道、これが橋を渡って日高や毛呂山の方に入ります。このコースは入間川をちょっと超えた所から水野、入曾辺りを鎌村街道の上道(かみつみち)と言うそうです。鎌倉街道と言うのは鎌倉幕府から発せられた街道として上道(かみつみち)、中道(なかつみち)、下道(しもつみち)とあるそうで、この上道は所沢の新光寺の横の実蔵院というお寺の辺りから細い道が狭山にぶつかって、今

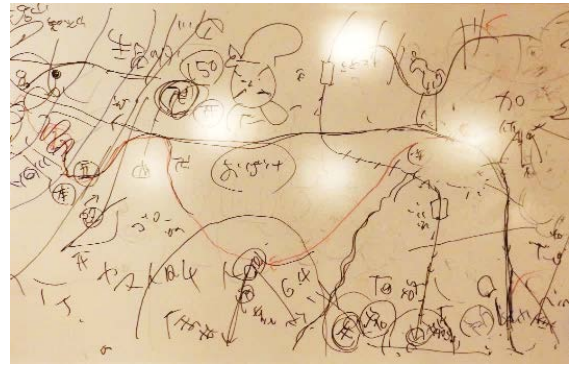


の西武鉄道の入間市駅、入曽駅、新所沢駅、入間基地等の辺りになります。入曽のすぐ近くには七曲井戸があり、入間の野々宮神社、常泉寺、金剛院があって、9月11日には八幡様の獅子舞がありました。八幡神社の前に慈眼寺、徳林時、橋の向こうに本富士見と新富士見があります。16号線が通って、智光山の近くには影隠地蔵、清水八幡宮、諏訪神社、これらが大体鎌倉街道沿いにある身近な神社やお寺です。

本来の鎌倉街道というのは真直ぐな道ではなく、私の聞いた話だと、入曽の七曲井戸の前にある不老橋の近くのかど屋辺りから基地の方に入っていたという事です。基地から慈眼寺の裏辺りに出て、合流しながら清水八幡宮の隣を通過して“八丁の渡し”を通ったという道筋だと聞いております。もう一つ所沢から出てきた枝道で堀兼道というのが川越につながり、加佐志辺りからもう一本奥富の方へ行き、入間川を渡って柏原の城山砦まで通っているという話をあちこち歩いて聞きました。

鎌倉街道にまつわる話として、先ずは小字名の月見野という珍しい地名があります。水野の新田開発の土地で私の住んでいる若葉台や東急台の近くの雑木林は高い建物が殆どなく、水野から堀兼辺りまではニンジン、ゴボウ、ホウレン草等の畑や主に茶畑が多く広がっています。そういった高台でまさに今頃から中秋の名月が見られます。小字名で月見野という地名を探すと、堀兼方面に月見ヶ原、月見台という地名が見つかります。

もっと奥へ行くと妻恋ヶ原があり、文学をやられる方などはこんなに良い地歴があるので、正にものにしたい様な土地の恩恵があります。と言いますのは、堀兼神社には七曲井戸と色々と比べられる堀兼井戸があって、郷土史家によって違いますが、本道を通っている上道にあるという事は、やはり七曲井戸が物語に出て来る堀兼井戸じゃないかと言うのが定説になっております。でも、枝道として堀兼街道に行くと堀兼神社の中にも井戸があって、手前のフラワーヒル辺りに大きな窪地のある井戸があって、これこそ堀兼井戸じゃないかとも言われています。街道沿いにある井戸というのは水を難儀した昔の旅人達を労った場所であり、それが遺跡として残っているという事です。



堀兼道で面白い話としては、これを遡っていくと川越に出て、入間川を越えた所に拠点として源頼朝に仕えていた豪族の武将の館跡が常楽寺というお寺にあるという事です。頼朝と義経が喧嘩になる以前に、河越氏の娘が義経の正妻として認められ、そのお蔭で河越氏は勢力を上げて外交的な権力をふるうようになったと言われております。義経が頼朝とやり合ったことで滅んでしまうのですが、館跡が復元されて大きな公園になっていて、見に行くにはすごくいい場所じゃないかと思えます。中世の武将の館跡がしっかりと残った所です。

金剛院は神仏習合で神社とお寺が合体したお祭りの形態を今にも留めているという事で、このお祭りは県の指定文化財となっております。ここの獅子舞は是非ご覧になってみるというと思います。

不老川は昔、日本一汚い川というレッテルを貼られてしまい、地域の住民や自治会が官民一体で協力して綺麗にしました。綺麗にしてもこの川は昔から雨が降ると必ず水かさが増えて被害を及ぼす暴れ川という一面があったそうです。これを証明したのが先の台風で、上流の入間市では橋の上まで水が来て大変な目にあったそうです。また、雨のない時の話が有名で、昔の節分、今でいえば大晦日の頃は水が干上がって流れないので「この川は年を取らないことを願っている、我々もそれにあやかりたい」という事で橋の下で一晩過ごす年を取らずに済むという言い伝えが残り、不老川(としとらずがわ)という珍しい地名になったと言われております。年配の方に“ふろう”と言ったところ、地元の呼び方は昔から“としとらず”だと叱られてしまいました。

上道を狭山市内をどんどん進んでいき、かどやさんを曲がると石仏のようなものがある、6つく

らの分かれ道があったとされています。

入間市の方に行く道もあって、基地を超えて豊岡高校の前辺りにお堂が建っていて、そこでは古戦場の名残で刀や矢じり等の武具が出てきたそうです。不老川を上った所に熊野神社があり、そこから少し行くと小手指ヶ原があって、これも古戦場であつたらしいです。「いざ鎌倉」という時に新田軍が北条を攻めにこの道を通つたそうです。

群馬県の太田市でカルタの絵を頼まれた際、鎌倉街道のすぐそばに住んでいる事を言うと、太田市には新田義貞の生品明神(いくしなみょうじん)という神社があると教えていただきました。新田軍は150旗で旗揚げをして、鎌倉街道を上って北条を倒しに行ったそうです。私の方にも新田義貞の伝説はいっぱいありますよと伝えると、入間川と言うのは大変貴重な川で、北条軍にしてみれば多摩川と入間川は全線を守る重要な拠点だったと聞かされました。入間川を越えられると北条軍には絶体絶命に近いぐらいの場所だったそうです。小手指ヶ原周辺だけでなく、利根川や荒川を渡る度に人が増えて、何万旗の旗揚げにもなったそうです。2万や3万旗という軍隊が押し寄せてきて、北条も2万や3万でぶつかる訳ですから、狭い小手指だけではなくもっと広い戦場(いくさば)になったんじゃないかと想像されます。あちこちに戦の跡があつて、堀兼神社にも久米川の戦場で戦つて、新田軍が北条に押されて堀兼まで退いたというような記録もあるそうです。また入間基地の辺りも古戦場という小字名が残っています。

新田義貞が鎌倉を攻めた時に熊野神社に詣でて、戦に勝ったらこの神社を何倍にもして返すというような戦勝祈願をしたそうです。そしてこの熊野神社は大変大きな寄進を頂いたそうです。熊野神社のご神体は3本足のカラスで、色々と調べていくと入間という地名の発祥の基となっています。狭山を中心にして川越、坂戸、毛呂山、日高、飯能、入間、所沢、この一帯に入間という地名の伝説が登場します。新田義貞が鎌倉幕府を攻めるため当地へ兵を進めた際、戦勝祈願に参拝したとあり、八幡神社の境内には義貞が



馬をつないだという「駒つなぎの松」が本殿のすぐ横にあります。

新田義貞の伝説にまつわる神社仏閣は所沢や東村山にも沢山あつて、それを訪ねるだけで大変貴重な旅が出来るんじゃないかなと思います。

上道とは今で言う国道のようなもので、昔の狭山市周辺は旅人も行ったり来たりで、新田義貞、足利尊氏、足利基氏が陣を張つたとか、御所になったという徳林寺があり、関東界隈にあつた基氏の家来たちがこの辺りに何万と住んでいたのではないかといった説もあります。それで入間川周辺は昔すごく賑わつていた場所じゃないかと言われています。

江戸時代に入ってから道も色々と変わったらしいのですが、狭山市でこれが鎌倉街道じゃないかというのは、堀兼の老人ホームのすぐ下に流れている久保川辺りの雑木林の中に細い道が残っていて、昔をちょっと彷彿させる道だとも言われています。堀兼の加佐志という所は周りが林になっていて、馬が一頭通れるぐらいの細い道で、昔の環道とか国道と言われる道は本当に狭い道だったそうです。



慈眼寺の裏辺りから子ノ神様辺りに行くと“八丁の渡し”という川を渡る場所があり、1000m足らずの幅の浅瀬を探して渡つたという事です。昔の事ですだから家中あたりがせいぜい馬に乗って渡るとか、泳ぐまでいかなくとも水かさがないところを探して渡つたようです。どどん川下の川越の方に行きますと、“八瀬の渡し”という地名があつて、その辺りまで広がっていたようです。奥富にも九頭竜様から白山砦まで行く川があり、地元の人はその辺りも“八丁の渡し”と言っております。

私は妖怪変化というものも調べていて、狭山にもお化けの話が沢山あります。子ノ神様の近くの五郎坂には“かまいたち”の妖怪変化の話があって、真冬に冷たい風が吹いてきて、そこで転ぶとカミソリで切った様な傷ができる事から、五郎坂を歩く時は転ばないようにという話を聞いております。これも鎌倉街道に伝わる伝説です。

本日の私のお話しが参考になれば、その場所に行ってみてください。また色々な感じる事があると思います。

ニコニコボックス

佐藤君 本日の外来卓話、童絵作家 池原昭治様、雨の中お越し下さいまして有難うございます。楽しみにして居りましたので宜しくお願い致します。

益子君 童絵作家の池原様、再度の卓話楽しみにして居りました。宜しくお願い致します。

江原君 本日の外来卓話の時間で童絵作家の池原昭治様のお話しを伺わせて頂けるとの事でしたので、楽しみにして居りました。宜しくお願い致します。

小島君 外来卓話の池原昭治様、ようこそお出で頂きました。お話し楽しみにして居りました。

小幡君 池原昭治様、当クラブへお出で頂き有難うございます。ニコニコする絵と卓話宜しくお願い致します。

柴田君 池原昭治様、この度お忙しい中、当クラブへ卓話に来て頂き有難うございます。鎌倉街道の話し宜しく。

清水君 本日の外来卓話の池原様、卓話宜しくお願い致します。

夫人誕生日 栗原(成)君

※ 次の例会

9月20日(火) 12:30~13:30

第2副SAA: 菊田君 小林君

外来卓話: 一般社団法人

ガコ問題情報センター

代表理事 渡辺 文学 様